

教科目標

【歴史的分野】

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

【公民的分野】

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

1学期 主な学習内容 (49 時間)	2学期 主な学習内容 (58 時間)	3学期 主な学習内容 (33 時間)
<p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第一次世界大戦と民族独立の動き ○高まるデモクラシーの意識 ○戦争に向かう世論 ○第二次世界大戦の惨禍 ○敗戦から立ち直る日本 ○世界の多極化と日本の成長 ○これからの日本と世界 	<p>【公民的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○私たちが生きる現代社会 ○現代につながる伝統と文化 ○憲法が保障する基本的人権 ○私たちと平和主義 ○民主政治と日本の政治 ○三権分立と私たちの政治参加 ○地方自治と住民の参加 ○消費生活と経済活動 	<p>【公民的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業の生産のしくみと労働 ○市場のしくみとはたらき ○金融のしくみと財政の役割 ○暮らしを支える社会保障 ○これからの日本経済の課題 ○国際社会の平和を目指して ○国際社会が抱える課題と私たち ○持続可能な未来の社会へ

評価の観点と規準 (各観点の割合は、全て達成率 100%で統一する。)

評価の観点 (1学期より抜粋)	評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ねB評価」等の設定 (行動目標)
I 知・技	<p>これからの日本と世界 我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会で我が国の役割が大きくなったことを理解できる。</p> <p>[全教科共通] ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・単元末小テスト ・単元末まとめプリント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末まとめプリントはA、B、C、Dで評価する。 A 90%以上、B 80%以上、C 50%以上、D 20%以上とする A = 教科書、ノート、資料集を用いて時代に関する情報 (人物、出来事、政治、経済、外交、文化) を分野ごとにまとめている B = 教科書や資料集を用いて時代に関する情報を分野ごとにまとめている。 C = 教科書を用いて時代に関する情報をまとめている。 D = 教科書を用いて時代に関する情報をまとめていない。
II 思・判・表	<p>これからの日本と世界 現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>[全教科共通] ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・単元末まとめプリント ・税の作文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・税の作文はA、B、C、Dで評価する。 A 90%以上、B 80%以上、C 50%以上、D 20%以上とする A = 身近な経験と税金を関連付け、関連する税金について調べ、税金と自分の関係や税金に対する自分の意見を書いている。 B = 身近な経験と税金を関連付け、税金と自分の関係や税金に対する自分の意見を書いている。 C = 身近な経験と税金を関連付けて書いている。 D = 身近な経験と税金を関連付けて書いていない。
III 主体的	<p>これからの日本と世界 現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決できる。</p> <p>[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 【各教科の方法・資料】 ・単元末小テスト ・単元末まとめプリント ・税の作文</p>	<p>[全教科共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知識及び技能」の観点について、指示に従って行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点について、指示に従って行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 ・単元末まとめプリント、税の作文は上記と同様の基準で評価する。